

## 平成 23 年度京丹波町当初予算編成概要

平成 23 年 3 月 2 日  
京 丹 波 町

平成 23 年度の地方財政計画におきましては、企業収益の回復等により国税収入が増加する一方で、社会保障関係費の自然増など歳出の増加により大幅な財源不足が見込まれる中、実質的に平成 22 年度の水準を下回らないよう財源確保を行うことを基本とし、地域主権改革に沿った財源の充実を図るため、地方交付税を 0.5 兆円増額するなど、地方財政への財源対策が示されたところであります。

本町におきましては、依然として景気回復の兆しが望めない影響を受け、町税につきましては約 2,200 万円、率にしまして 1.3% の減少、また、地方消費税交付金をはじめとする各種譲与税・交付金関係で約 1,130 万円、率にしまして 2.6% 減少すると見込んでおります。

こうした厳しい財源状況の中、財政健全化を第一におきつつ、「安心・活力・愛のあるまちづくり」を更に充実発展させるため、まちづくりの推進に向けた幅広い観点から各種施策に積極的に取り組むこととし、限られた財源を有効に活用して特色ある予算編成としました。

### ◆ 「安心のあるまちづくり」の推進

「ふれあい」と「支えあい」を基礎とした、安心・安全でやすらぎのある暮らしができるまちづくりを進めます。

#### ① 地域医療体制の確立推進と医師確保対策（新規・継続）5 億 9 3 7 万 9 千円 【診療所費全体】

- 京丹波町病院、和知診療所、和知歯科診療所の一本化
- 医療確保奨学金制度の推進（継続） 1 8 0 万円  
医師不足対策として、臨床研修医等に対し、月額 1 5 万円の貸付を実施。
- 旧病院施設解体に係る運営補助金の増額 1 億 6, 5 0 0 万円

#### ② ひとり暮らし高齢者の安全安心対策（新規）・・・1, 2 1 1 万 8 千円

- 地域包括ケア体制の充実 4 4 1 万 8 千円
- 地域包括ケア情報伝達システム構築 3 2 0 万円  
I T（情報技術）を活用した医療機関との情報伝達システムの実証実験。
- 高齢者ふれあい事業の創設 4 5 0 万円  
高齢者ふれあい訪問事業の実施。（地域見守り活動）  
N P O 法人等が実施する自主ミニディサービス、自主サロンの運営助成。

**③ 交通基盤の強化（新規・継続）・・・5, 722万1千円【交通対策費全体】**

- ・ 瑞穂地区の小学校統合にともなうスクールバスの増発。
- ・ 要望の強かった桧山和知線の新規運行実施。
- ・ 須知高校への通学に町営バスの利用促進として通学助成を新たに実施。  
町営バス定期代の1/2相当額を助成する。
- ・ 町営バス運行の更なる推進のため引き続き繰出金を確保。

**④ 自主防災組織育成事業の創設（新規）・・・100万円**

- ・ 各行政区における自主防災組織の結成・育成を図り、地域防災の基盤強化を推進するため、資機材や備蓄物資整備などの取組に対し、10万円を上限とした補助金の交付を実施する。

**⑤ 子育て支援の推進（継続）・・・4, 622万円**

- ・ すこやか子育て祝金として、第1子5万円、第2子10万円、第3子以降20万円支給する。
- ・ チャイルドシート購入代金の1/2を助成。（限度額1万5千円）
- ・ 子育て医療費助成として、中学校卒業まで、各種健康保険による自己負担額から、一部自己負担額を除く医療費を助成する。

**⑥ 健康増進推進の拡充（継続）・・・8, 503万3千円【保健事業費全体】**

- ・ 生活習慣病予防やがん予防を重視した特定健診の実施。
- ・ 女性特有のがん健診の実施。
- ・ 働く世代の大腸がん検診推進事業の実施。
- ・ 妊婦健診（14回分）の実施。
- ・ 不妊治療助成制度の実施。

**⑦ 消防車両等の整備（継続）・・・6, 110万7千円**

- ・ 消防車両更新について、配備済みの消防ポンプ自動車や小型動力付ポンプ積載車について、老朽化の著しい車両から順次更新再配備を行う。

**◆ 「活力のあるまちづくり」の推進**

地域の特性や地域資源を最大限に生かした魅力ある産業のはぐくみ、働く場の確保や社会基盤等の整備を推進し、人びとが暮らし、集うための安定した定住・交流の基盤を築きます。

**① 有害鳥獣対策の推進（継続）・・・5, 633万7千円**

- ・ 狩猟者の育成として、免許取得講習会受講料と受検手数料に加え、銃器免許新規取得者に対して10万円の助成を継続。
- ・ 被害防止施設資材費及び防除施設設置補助制度の継続実施。

- ② **農業振興の推進（継続・新規）・2億7,824万5千円【農業振興費全体】**
- ・ 農業機械導入整備の増額により一層の担い手の確保を図る。
  - ・ 丹波ブランドの特産物である黒大豆・小豆をはじめソバ、京野菜等の生産推進と産地づくりの確立を図る。
  - ・ 京丹波「食の郷」創造プロジェクト事業の創設。
  - ・ 空屋情報バンク制度による担い手の発掘・育成の推進。
- ③ **林業振興の推進（継続・新規）・1億1,641万9千円【林業振興費全体】**
- ・ 各種振興補助制度により担い手の育成と間伐等森林保全の充実などに積極的に取り組み、林業所得の向上と活性化を図る。
  - ・ 効率的な森林施業のための新たな基幹林道の開設など路網整備の推進を図る。
  - ・ 間伐材などの木質資源の利用推進を図るため、実証事業として「木のぬくもり活用推進事業」を創設し新たに取り組む。
- ④ **道路橋りょう新設・維持管理事業の実施（新規・継続）・3億6,048万円**
- ・ 道路利用者である車両や歩行者の安全確保、また、町内産業における利便性の向上を目的として、拡幅並びに改良を行う。
  - ・ 町道修繕等に係る必要所要額を確保し、住民要望に即応できる体制づくりを図る。
  - ・ 丹波パーキングエリア基本計画策定を新規計上 2,270万円  
誘客力の推進のため丹波パーキングエリアに係る基本設計費を計上。
- ⑤ **畑川ダム周辺整備計画策定（新規）・・・620万円**
- ・ ダム周辺の利活用等に係る整備基本計画策定調査費を計上。
- ⑥ **鳥インフルエンザ発生農場跡地整理事業（新規）・・・830万円**
- ・ 跡地活用について引き続き事業計画の立案に向けた所要額を計上。
  - ・ 鶏舎跡地にかかる敷地の現況測量等にかかる経費を計上。
- ⑦ **住宅改修補助金交付事業の創設（新規）・・・2,000万円**
- ・ 耐久性の向上及びバリアフリー化等の改修に対して補助金を交付。  
補助上限額 10万円／戸
- ⑧ **商工・観光振興の推進（新規・継続）・・・1億61万8千円【商工費全体】**
- ・ 仮称「京丹波町観光協会」の設立運営に係る経費を計上。
  - ・ 町商工会が実施する「プレミアム商品券発行事業」に支援を行う。
  - ・ 小規模商工業者等の育成や補給金制度など引き続き経営支援を行う。

**◆ 「愛のあるまちづくり」の推進**

町民が一体感や連帯感をはぐくみ、誇りと愛着を持ってまちづくりに参画できる環境をつくとともに、行政運営の効果・効率性を高めていきます。

**① 活力ある地域づくりの推進（継続）・・・557万円**

- ・ 住民自治組織等に対する交付金による支援や職員による支援体制を整え、活力ある地域づくりの推進に努める。

**② 地域見守り活動の推進（新規）・・・300万円**

- ・ 児童の預かり等の相互援助活動を支援するファミリーサポートセンター事業を創設し、地域見守り活動の充実を図る。

**③ 国民文化祭推進事業（新規）・・・552万6千円**

- ・ 11月6日開催予定の第26回国民文化祭に係る経費を計上。

**④ 全中学校完全給食に向けた調査経費（新規）・・・2,020万円**

- ・ 給食検討委員会の提言を踏まえ、全中学校での完全給食に向けた具体的な取組として調査設計等経費を計上。

**⑤ 住宅用太陽光発電システム設置補助制度の創設（継続）・・・480万円**

- ・ 環境負荷の少ないクリーンエネルギーの普及を促進し、豊かで美しい環境を守る。

**◆ 「財政健全化」の推進**

平成20年度決算から財政健全化比率のいずれかが、早期健全化基準を超えた場合は、「財政健全化計画」の策定が義務付けられているため、当初予算編成の段階から各種比率の抑制に留意した予算編成としています。

**① 新規発行債の減少**

- ・ 公債費に関しましては、既発債の対策は一定整理ができ、今後は新規発行債の計画的な実施が必要であり、平成23年度の地方債発行額は、前年度と比較しますと、5,730万円、5.6%の減少としております。

**② 土地開発公社先行取得用地対策**

- ・ 平成22年度末の土地開発公社先行取得用地債務保証残高見込は約20億円、合わせて年間利子が毎年度約4千万円など多額の債務を抱え、このまま放置しておくことは利子の加算により、今後さらに増加が見込まれるなど深刻な状況にあります。平成23年度につきましては、3億9,728万8千円を計上し、土地開発公社先行取得用地の買戻しを図り、将来的な視野を見据え、健全な財政運営の基盤づくりを目指します。

以上、4つの視点を大きな柱とし予算編成をしています。

本町の平成23年度一般会計歳入歳出予算額は、105億3,700万円、前年度と比較しますと8億6,800万円、9.0%の増加となりました。

町債残高におきましては、今後の財政運営も考慮し新規発行を抑制しており、平成23年度末現在高見込みは、平成22年度末現在高見込みに対し、約5億4,427万円、3.6%の減少となっております。また基金繰入金については、土地開発公社先行取得用地の買戻しの財源として、先行取得用地対策基金からの繰入れを行うほか、前年度において平成23年度以降予定されている各種課題対策事業の財源として約6億円の積立を実施した財政調整基金から繰入れを行うこととしております。

今後は、地方交付税の合併特例期間を見据え、予算規模などについて総合計画、財政見通しとの整合性を可能な限り図りつつ、持続可能な財政運営の構築を目指していきたいと考えております。

また、京丹波町には、一般会計の他に14の特別会計と企業会計であります病院事業会計を設置しています。特別会計の予算総額は69億3,792万7千円で前年度67億6,298万5千円と比較し1億7,494万2千円、2.6%の増加となりました。これは、介護保険事業特別会計（事業勘定）における保険給付費等の増加によるもの、また水道事業会計における畑川ダム負担金の増加によるもの、土地取得特別会計における土地開発公社先行取得用地の買戻しなどの増加によるものです。

企業会計であります病院事業会計は、支出予算額で15億6,606万3千円、前年度9億7,266万5千円と比較すると5億9,339万8千円、61.0%の大幅な増加となりました。これは、平成23年度から実施される町内病院体制の一本化に伴い、前年度まで国民健康保険事業特別会計（直診勘定）で計上されていた和知診療所及び和知歯科診療所にかかる経費が増加したことによるものです。

◆ 配布資料

平成23年度京丹波町当初予算の概要